

# 東濃中部地域新病院 第2回市民ワークショップ

第1回市民ワークショップの  
ご意見への対応について

令和3年12月25日

# 第1回 市民ワークショップの概要

- 第1回市民ワークショップは令和3年11月27日（土）に子育て関連団体、高齢者関連団体、地域福祉関係団体、経済団体から各2名（1名欠席）の計15名、公募市民が両市から計7名、及び策定委員会委員2名（両市連合自治会役員）の合計24名の市民の方々にご参加いただき、活発な意見を頂戴致しました。
- また、組合議員8名、両市議会議員6名にもご参集いただき、市民からのご意見に耳を傾けていただきました。
- 第1回市民ワークショップでは4つのグループに分かれて意見交換いただき、最後に各グループのご意見を集約して「新病院に期待すること」「新病院に求める機能」「新病院の規模」「その他の意見」別に発表していただきました。
- 以下では、ご意見・ご要望への対応について報告致します。

# 1. 新病院に期待すること (1) 全般的な病院機能

ご意見	基本構想・基本計画における対応
東濃医療圏（二次医療圏）の地域医療を担う中核病院としての役割。	基本構想P31の「2. 新病院の目指す姿」に掲示のとおり、新病院は地域中核病院として高度で先進的な医療提供や地域に不足する診療機能の充足に努め、可能な限り区域内で完結できる医療提供体制を目指します。
2次医療を完結できる病院、全市民が納得いく病院。高度医療、先進医療を提供可能な大きな病院。	基本計画において医療機器や設備等の充実について記載する予定です。
公的役割を果たすため、医療機器や設備などを充実し、診療・治療処置を完結する病院。	新病院では救急医療の充実を特に重要な課題としており、24時間365日体制を目指します。また、脳卒中や心筋梗塞等の命にかかわる疾患に対応する急性期医療を充実します。
地域住民の命を守る。	医師・医療職の働きやすい職場環境を整えます。
医師の確保。	開設当初は400床程度としますが、将来は患者数に応じて病床数を減床することも想定します。
将来の人口や医療需要の推移を見据えた現実的な病院計画。	

# 1. 新病院に期待すること (2) 診療機能

ご意見	基本構想・基本計画における対応
より専門性の高い救急医療の提供。	前記のとおり、新病院は救急医療の充実を重要課題としており、24時間365日体制を予定します。
2次救急体制を充実して欲しい。	
安心して出産ができ、出産後の子育てもしやすい周産期医療の提供。	産婦人科の設置に向けて努力してまいります。小児科は入院への対応強化を目指しています。
産科や小児科の充実（できれば専門医）。	
小児科、産婦人科に強い医療体制を作って欲しい。	
歯科や産科／婦人科。	歯科医師会と連携して、区域内における医療の完結を目指します。
高齢者対応。総合的に診てくれる診療科。	患者さんが気楽に相談できる窓口の設置を進めます。
何の病気か分からない患者が気楽に相談できる。ハードル下げる。	

# 1. 新病院に期待すること (3)付帯機能等

ご意見	基本構想・基本計画における対応
保育園などの小児（患児）の医療ケアが必要。 新病院は、市民が安心して生活できる病院。	基本構想のP35「（10）小児医療への対応」に記載のとおり発達障害児に対する専門的・継続的な医療を提供の予定であり、また、学校等を通じて小児の発達や健康増進に対するアドバイス、チェックを行えるシステムを構築予定です。
障がい児や医療的ケア児の受け入れ。	病児・病後児保育所を設置します。 障がい児等の療育については専門性が高いため専門医療機関に委ねます。
人材育成（医師、看護師）	基本構想のP33の「（6）職員育成・人材確保の推進」に記載のとおり、人材育成に注力します。

# 1. 新病院に期待すること (4)患者サービス

ご意見	基本構想・基本計画における対応
診察や会計の待ち時間の抑制や予約や併科受診の効率化など、AIやICTを活用しながら利便性の高い診療環境の整備。	待ち時間の短縮ならびに患者プライバシー保護のため予約システム、再来受付機、自動精算機、電光掲示板表示システム、患者呼び出しシステム等の導入を検討します。また、待ち時間を快適に過ごせるカフェ等の設置を検討します。
予約や受付機能をIT、AIなどを導入し利便性の高い病院。治療が完結できる病院。	
患者本位、患者にやさしい病院。なんでも相談できる機能（窓口）を整備。	基本構想のP31に記載のとおり、患者・家族とのコミュニケーションを大切にします。
午後診や夜間休日の医療提供	休日は休日急病診療所との連携を強化して対応します。 午後診療、夜間診療は、医師の過労死が社会問題化する中で、医師の働き方改革が施行されて時間外労働が制約されることから対応は困難です。
診療時間は午後の診療、夜間診療もあると良い。	

## 2. 新病院求める機能 (1) 全般的な病院機能

ご意見	基本構想・基本計画における対応
新興感染症への対応病床の整備。	基本構想P32「(4) 新興感染症拡大時における速やかに感染症患者を受け入れる体制整備」に記載のとおり感染症対策に取り組めます。 また、基本計画に感染症対策の具体的対策を記載の予定です。
新型コロナ等の感染症対策にしっかり取り組む。	
良質な医師の確保と現病院に不足する診療科目の充実。特に、産婦人科、小児科、眼科、泌尿器科など。	基本構想のP35に周産期医療への対応を記載しております。 小児科は入院機能の充実を図ります。 その他の地域に不足する医療も充実を目指します。
診療科が充足し、幅広く診療を受けられる病院（産科は絶対必要）。	
周産期医療、小児科。小児医療に関してはいつでも気軽に、幅広く相談できる部門（窓口）を整備。	

## 2. 新病院に求める機能 (2) 診療機能①

ご意見	基本構想・基本計画における対応
精神児童科や地域に不足する診療科を整備。	発達障害児については小児科での対応を予定しています。児童精神科は専門的な分野であり、発達障害は小児科で対応する例が少なくありません。発達障害以外の専門的な診療が必要な場合は、専門の医療機関での受診をお願いします（新病院は急性期医療に対応する病院であり、専門的な精神医療を提供する病院ではありません）。
児童精神科（受け入れ施設が無く、今は3ヶ月～3年待ち）。	
小児救急に対応する小児科。	小児救急を含めて救急は救急チーム（救急科）で対応します。リハビリテーションが必要な小児医療は専門性が高いため、専門病院での対応となります。
小児リハビリテーション。	
女性専門外来。思春期からおばあちゃんまで、体と心の両方を診られる女性専門科。	医師の採用に伴い、専門外来の充実を図るよう努めてまいります。

## 2. 新病院に求める機能 (2) 診療機能②

ご意見	基本構想・基本計画における対応
へき地医療、訪問診療、訪問看護、在宅医療の充実。	へき地医療、在宅医療等については基本構想のP32に記載のように地域医療機関との協力体制の下で対応の予定です。 在宅移行支援もご要請に従って対応の予定です。
へき地医療への医療提供。	
地域包括ケア病棟による在宅移行支援（レスパイト入院への対応も含む）。	
ゆりかごから墓場まで、全診療科で終末期医療まで診れるのが理想。今は医療が細分化している。患者が理解して安心できる道筋。	
脳疾患等の高度医療体制の充実。	基本構想のP34に記載のとおり脳疾患や心疾患の急性期医療を強化する予定です。
他の医療機関にない脳神経外科などの特徴ある診療科の充実。	

## 2. 新病院に求める機能 (3)患者サービス①

ご意見	基本構想・基本計画における対応
アクセス道路などのインフラ整備、巡回バスなどの通院手段の整備。	アクセス道路については基本構想のP37に記載のとおり新設道路を敷設する計画です。
交通手段の確保。循環バスの充実。恵那から来る患者。	巡回バス等については、関係部署と調整の上、確保に努めます。
病院へのアクセス確保。巡回バスを確保。	ドクターカーについては、D-MATの整備とともに検討します。
巡回バス。中津川のようなドクターカー。	
駐車場の確保。面会者が来院しやすい環境を整える。	駐車場は1,000台程度を確保する方針で検討します。面会者談話スペース等を確保の予定です。
院内の動線を分かりやすくして欲しい。	院内動線を短く、かつ、分かりやすくします。
アメニティ施設の充実。	患者や家族、面会者が利用できるアメニティ施設を整備の予定です。
市民の憩いの場「ピアスペース」	

## 2. 新病院に求める機能 (3)患者サービス②、ほか

ご意見	基本構想・基本計画における対応
診療にあたり、ITなどを使い、住民に利便性の高い病院（遠隔診療、Web診療等）。	システム等の導入により待ち時間の短縮化を図ります。
オンラインでの予約。	遠隔診療、Web診療については国の規制緩和の状況により順次導入を検討します、合わせて巡回バスの導入を検討していきます。
待ち時間の短縮。	
親が受診する際に子どもを一時預かりしてもらえる。	お子さんの一時預かりについては検討課題と致します。
託児所、保育所。	新病院では地域住民が利用できる病児保育・病後児保育所を設置の予定です。
「整備方針」の内容の実現	新病院は救急医療や急性期医療の充足を第一義に、順次、医療機能の充実を図ります。

### 3. 新病院の規模

ご意見	基本構想・基本計画における対応
医師確保のため、できるだけ多くの診療科、大きな病床規模。病床規模については、コロナのような感染症の緊急時にも対応可能な病床規模を確保。	病床規模は400床程度を予定しています。病床数が多いと医師が集まりやすいのではなく、症例数（患者数）が多い診療科に医師が集まりやすいのであり、医療需要から400床程度が妥当と考えられます。
病床規模は整備方針の通りでよい。	
初診料が上がらないような病床規模。350床程度。	
医師を確保しやすい規模の病院。	

## 4. その他の意見①

ご意見	基本構想・基本計画における対応
通院手段や、訪問診療の整備強化など、通院手段、巡回バスは、是非とも設置。	巡回バス等の運行や駐車場等については前記のとおりです。
タクシー会社と契約して相乗りできるよう。	タクシーの相乗りについては、両市で検討していただくよう申し入れます。
利用者の費用負担の少ない交通手段確保。	道路が渋滞しない仕組みについては検討中です。
十分な駐車台数の確保。駐車場の無料化。	
道路が渋滞しない仕組み。	
迷わない分かりやすい動線や案内表示。	高齢者でも使い勝手の良い病院とする計画です。
患者さんの待ち時間対策、高齢者対応を要検討。	待ち時間短縮対策等は前記のとおりです。
医師確保した後も、医師が離職しない、働きやすい職場環境や病院。	医師・医療職の職場環境の整備については前記のとおりです。 医師・医療職が激務のために離職しないように、住民の皆様のご理解とご協力をお願いします。
コロナなど新規感染症への対応。今回の教訓を活かして欲しい。	基本計画では陰圧室の設置等、新興感染症対策の具体策を検討していきます。

## 4. その他の意見②

ご意見	基本構想・基本計画における対応
事務の効率化などで待ち時間の短縮。	前記のとおり待ち時間の短縮を図ります。
障害児保育園。	障害児保育園については病院事業外であり、両市の別事業で検討することになります。
屋上にドクターヘリ用のヘリポート。	ヘリポートの設置については検討中です。
東濃厚生病院はまだ新しいのに、何故また新しい病院を作るのか。理由を聞きたい。	医師不足の状況下で東濃厚生病院と土岐市立総合病院の2病院体制では医師が分散するため、両病院を統合して手厚い医療提供体制を目指すこととしました。先行事例では統合後の病院では、医師数が増加する例が多く、両病院合算よりも医療提供体制を強化できるものと期待されます。両病院の跡地利用及び分院設置については、市民の皆様のご意見を踏まえて今後検討します。
土岐総の跡地を診療所として利用できないか。廃止されると困る人達もいる。	
東濃厚生病院跡地を分院等にして活用して欲しい。	
既存病院がなくなることに對する不安の解消。	

## 4. その他の意見②

ご意見	基本構想・基本計画における対応
より多くの市民の意見を反映した親しみやすい病院づくり。	市民の皆様の幅広いご意見・ご要望を聞くために市民ワークショップを開催しています。 今後も適宜、新病院に関する情報提供を行います。
新病院の整備経過の随時市民への周知。	
建設予定地に対する不安がある。住民に対する説明不足。住民の不安解消、不信感の解消の面で、今後は、随時、情報提供。	
早めの情報の提供。統合反対の人達の意見も取り入れて欲しい。	
病院の人と市民とが定期的に意見交換できる場。市民が応援してやる気が出るよう。	
国の言うことを受け入れるだけでなく、議会も含めて市側から国に対して意見を出す形。	